

第11回 数理工教育セミナー

# 脱 ゆとり教育のこれからを考える

—組織的な教育による主体的な学びを目指して—



開催日：平成25年3月18日(月) 10時～16時30分(受付は9時30分～)

場 所：金沢工業大学 扇が丘キャンパス (石川県野々市市扇が丘7-1)  
23号館 4階409教室

定 員：100名(高校教員、大学教職員、企業)

参加費：無 料(懇談会含む)

申込先：以下のホームページよりお申込みください。

<http://www.kanazawa-it.ac.jp/efc/kyouiku/seminar/index.html>

主 催：金沢工業大学 数理工教育研究センター (電話:076-294-6349 FAX:076-294-6737)



2009年度から、初等・中等教育の数学・理科において、新学習指導要領、いわゆる「脱ゆとり教育」(移行期間)がスタートしました。2012年度から高校教育の数学・理科の移行期間が始まりました。2015年度にはこの新学習指導要領で数学・理科を学習した生徒が大学に入学してきます。今回のセミナーでは、近い将来から本格的に始まる脱ゆとり教育を意識して、新学習指導要領、高校現場の取り組み状況や本学から数理工教育の状況(教育成果)などを紹介し、組織的な教育による主体的な学びをイメージして、脱ゆとり教育のこれからを考えます。

# スケジュール (平成25年3月18日(月) 10時～ 扇が丘キャンパス 23号館4階409教室)

■開会挨拶 (10:00～10:05) 金沢工業大学 学長 石川 憲一

■講演 (10:05～12:15)

講演1 「新学習指導要領の現状と高校での取り組み事例紹介」  
(株式会社ベネッセコーポレーション 大学事業部 主任研究員 福岡 忠彦 様)

講演2 「金沢泉丘高校でのこの10年間の取り組み  
—県立進学校の牽引車として」  
(石川県立金沢泉丘高等学校 校長 村澤 勉 様)

講演3 「基礎教育教員と専門教育教員による組織的な連携授業の効果」  
(金沢工業大学 環境土木工学科 教授 宮里 心一)  
(金沢工業大学 数理工教育研究センター 准教授 北庄司 信之)

■事例報告 (13:00～15:20)

報告1 「生徒の主体的な学びへの成長—SSHでの研究活動を通じて」  
(石川県立小松高等学校 教諭 板東 健寿 様)

報告2 本センターからの報告

(i) 平成24年度からの数理基礎教育の現状 (数理工教育研究センター長 教授 青木 克比古)

(ii) 先進的な授業(アクティブラーニング)の教育事例 (数理工教育研究センター 教授 西 誠)

(iii) KIT型学びの成長の研究報告 (数理工教育研究センター 教授 谷口 進一)

■懇談会(21号館) (15:30～16:30) ※無料でご参加いただけます。



## 会場のご案内 (扇が丘キャンパス 23号館4階409教室)



会場は2012年8月に完成した  
「新・23号館」の4階!

1階にはチーム活動を行える「イノベーション  
& デザインスタジオ」や「学生ステーション」、  
2・3階に「基礎英語教育センター」、4・5階  
に「数理工教育研究センター」があります。  
(当日は館内の見学も可能です)



1階「イノベーション&デザインスタジオ」

## お申込み【申込締切:3月8日(金)17時まで】

以下の内容をFAX(076-294-6737)またはホームページからお送りください。

氏名			
学校名・企業名		役職	
住所	〒		
電話番号			
メールアドレス			
懇親会参加	有	無	

※ホームページはこちら <http://www.kanazawa-it.ac.jp/efc/kyouiku/seminar/index.html>